

# 「希望郷いわて」

## 農業・農村の復興に向けて⑤

■岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

昨年、『希望郷いわて』農業・農村の復興に向けて』と題して、東日本大震災津波で被災した農地・農業用施設の復旧の状況などを、4回シリーズで紹介しました。

本号では、その続報として、復旧・復興に向けた取組状況や、被災農地の現状を紹介します。

### 1 農地等災害復旧事業の進捗状況

復旧の対象となる農地1,190haのうち、5月末までに567haの復旧が完了しました。

内陸部の復旧対象農地473haについては、一関市の大規模な地滑りが発生した農地10haを除く463haの復旧が完了しました。この10haについても、現在工事を進めており、今年の11月までに完了する見込みです。

沿岸部の復旧対象農地717haについては、市町村の土地利用計画との調整に時間を要することなどのため、当面の着工が困難な404haを除いた313haのうち、宮古や久慈管内を中心に104haの復旧が完了しました。今後も、災害復旧事業を進め、今年度中に更に207haの農地を復旧する見込みです。

【農地復旧の見通し】

区分	復旧対象農地面積 ①	平成24年5月末まで		平成25年3月まで(累計)		平成25年度以降(予定) 復旧面積 ④=①-③
		復旧面積 ②	進捗率 ②/①	復旧面積 ③	進捗率 ③/①	
内陸部	473ha	463ha	98%	473ha	100%	
沿岸部	717ha	104ha	15%	311ha	43%	406ha
計	1,190ha	567ha	48%	784ha	66%	406ha



【復旧工事の状況（一関市松原地区）】

沿岸部の被災農地の復旧が進まない要因と、今後の対応方針は次のとおりです。

### 2 主な課題と今後の対応方針

**【要因①】**  
被災農家が、あちこちの仮設住宅や県内外に転居していること、避難生活のため営農再開するかどうか迷っている農家が多いことなどから、工事説明会への出席率が低く、工事施工の同意が確認されていない。

**【要因②】**  
震災津波による地盤沈下や流失した表土・基盤土を補充するため、大量の土が必要となっているが、必要量を確保する見通しが立っていない。

**【対応方針①】**  
地元市町村と連携しながら未確認農家へ直接訪問等を重ね、工事施工の同意を確認する。

**【対応方針②】**  
市町村・関係農家等の連携・協力のもと、土取場の確保に努める。加えて、ガレキ撤去（環境省事業）により生じたガレキ片混じりの土砂の有効活用を検討する。

県では、今後も市町村や関係農家のみなさんなどの意向を確認しつつ、地域づくりの方向性も踏まえながら、一刻も早い被災農地の復旧・復興に向けて取り組んでいきます。

### 3 被災農地の現状

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた沿岸地域の農地からも、営農再開の足音が聞こえてきています。今回は、その中から、山田町の大浦地区を紹介します。

大浦地区では、約4haの農地が被害を受け、昨年12月から県が主体となって復旧工事を進めてきました。

そして、5月17日には、関係農家27戸が設立した「大浦地区農業復興組合」が、工事が完了した水田で田植えを行いました。当日は、大浦保育園の園児や地元のみなさんをはじめ、山田町の佐藤副町長、県沿岸広域振興局の菅原副局長及び災害復旧支援のため北海道、三重県、長崎県から派遣された職員も参加し、復興の第一歩を地域全体で祝いました。



復旧後の水田で田植えを行う地元のみなさん

### 4 地域農業の復興への思い



大浦地区農業復興組合 組合長 阿部栄治さん

「大浦地区農業復興組合」の代表である、阿部栄治組合長さんにお話を伺いました。

「今回、地域の未来を担う大浦保育園の園児や町をはじめとする関係者の皆様と、こうして田植えを行うことができ、大変感謝しています。」

震災直後は、米づくりをあきらめておりましたが、1年2か月が経過し、県の工事によりきれいに復旧され、水稲が作付けされた水田を眺めると、将来に向け希望を持つことができます。

大震災津波により、日常生活や生産基盤を奪われ、農業の担い手が減少していくことが心配されますが、今回、復興の第一歩を踏み出した喜びを胸に、水田を守っていきたいと考えております。」

と、地域農業の復興への思いを語っていただきました。



【復旧後の大浦地区】  
2012年5月



【被災直後の大浦地区】  
2011年3月

山田町  
大浦地区

#### 農村計画課・農村建設課のトピックス (7~12月6回連載)

次号8月は…  
平成22年に紹介した「紙芝居」の舞台となった農地・農業用施設の今をご紹介します。  
※内容は変更になることがあります。ご了承ください。

●このページに関するお問い合わせ  
岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課  
Tel019-629-5674/Fax019-629-5679/E-mail:AF0006@pref.iwat.e.jp

#### ■大浦地区の被害状況

人的被害： 32名  
被害家屋： 133棟  
農地浸水面積： 4ha

#### ■大浦地区の概要

人口 851人  
世帯数 302世帯  
農家数 21戸  
産業 漁業  
特産品 アワビ、ウニ、マツタケ、椎茸